平成 27 年度 「学校へ行こう週間」 公開授業&進路講演会

11月6日(金)

『公開授業』

文科省も推進しており、最近小中高校にも 広がりつつあるアクティブラーニング型授 業。1 年生の英語の授業を拝見させていただ きました。

教室に伺った時は授業の後半で、アクティブラーニング的な授業は終わっていて、実際に見ることはできなかったのですが、生徒同士のやり取りで解答に導き理解していく授業のおかげか、6時間目という集中力が途切れる時間帯にも関わらず、生徒たちは真剣に取り組んでいました。



※アクティブラーニング(能動的学修法)とは

教員が講義形式で一方的に教えるのではなく、学生や子どもたちが自分から進んで、更にお 互いが協力しながら学ぶ指導・学習方法の総称。具体的には、発見学習、体験学習、問題解 決学習、調査学習などがあり、討論やグループワークなども有効な学習方法とされている。

『進路説明会』

講演テーマ:「親子で乗り切る大学受験」

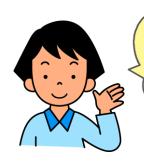
講師:河合塾広島校 校舎長

毛利美佳様

80 名程度の PTA 参加者が聴講しました。

少子化で受験者数は減少しているのに 大学の募集人員は増加している現象に、ワンランク上の大学を狙える時代とのこと。 受験生である我が子の不安な気持ち、そしてやる気を起こさせる声かけなど、受験生をもつ親の心構えまでお話いただきました。





見守ることが大切なんですね。